

# ひびき

# 2025

垣生小学校だより

No. 5 令和7年12月12日

Tel 089-972-1239



## 『感謝～人として～』



今年も、いよいよ大詰めを迎えました。保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に御協力いただき、ありがとうございます。お陰様を持ちまして、今年度垣生っ子が関わる大きな事故や事件が起こっていないことに「感謝」の気持ちしかありません。本当にありがとうございます。

私事にはなりますが、10年ぶりに8年間勤務させていただいた垣生小学校に再び勤務させていただくことに「感謝」の気持ちでいっぱいです。「おかえりなさい。」の声を聞き、「改めて、垣生校区のためにお役に立つことを！」との思いを強くした4月のことを思い起こします。また、児童の名札の色が1年生から6年生まで1学年を除いて、18年前と同じ並びであることや、10月からは3回目のオレンジ色名札の担任をさせていただくことにも、不思議な御縁を感じています。

最近、SUPER BEAVER（スーパー ビーバー）というグループの曲をよく聞きます。保護者の方の中にも、お馴染みの方がいらっしゃるのではないでしょうか。先月、県民文化会館で行われたライブにも30分程遅れて参加してきました。たくさんの曲の中でも、「人として」という曲がおすすめです。メロディーもすてきですが、一つ一つの歌詞から本当にたくさんの勇気とパワーをもらっています。よかつたら、一度耳にしていただいたらと思います。

まだまだ力不足で、たくさんの方に御迷惑をお掛けしますが、「感謝の気持ちで、謙虚に堂々と」、垣生っ子たちの成長に役立てるよう、過ごしていきます。よろしくお願ひします。

(教頭 酒井 史雄)

## 音楽会



11月18日、「心に響け 笑顔で奏でるハーモニー」のテーマの下、垣生っこ音楽会が行われました。音楽会を間近に控え、少しずつ欠席が増える傾向にあり、残念ながら午前中の児童が聴き合う時間は実施できませんでした。

子供たちは、垣生っこ音楽会の練習を通して、たくさんのこと学ぶことができました。友達と息を合わせ、タイミングを合わせ、互いの音を聞き合いながらハーモニーを作る。一つ一つの音にこだわり、一人一人の音の役割を大切にしながら、それが積み重なって大きな音楽になっていく。そんな「音楽を創り上げる難しさ」を学び、同時にそれらを「ゼロから創り上げていく楽しさ」を練習の中から感じることができたのではないかと思います。



垣生っこ音楽会では、保護者の方々に聴いていただき、たくさんのお客さんの前で演奏する楽しさや、たくさんの拍手をいただく喜びを味わうことができました。

聴いてくださった観客の皆様にも、きらきらと輝く子供たちの一生懸命な表情や心癒される楽しい音楽で、心温まるすてきな時間を過ごしていただけたのではないかでしょうか。

(音楽主任 今城 真理)



## ～保健室より～ 病気になりにくい体を作るには？



「何だか熱っぽい。風邪を引いたかな？」自分の体からのサインに気付くことが大切です。何となく体の調子が悪いな、いつもと違うと感じたら、“早めに休む”。これだけでも病気がひどくなるのを防ぐことができます。ただ、それだけではなく、私たちの体には病気になりにくい働きとして「自然治癒力」や「抵抗力」、「免疫機能」というものが備わっています。

「自然治癒力」：人間が自らの力で病気やけがを治す仕組み。例えば、風邪を引いたときに温かくして寝ると良くなったり、傷口の血が固まって出血を防いだりするのもこの働きのおかけです。

「抵抗力」：ウイルスや細菌、微生物など、外からの敵に対して備わっている体の強さのこと。

「免疫機能」：ウイルスや細菌などで病気になったときに、そのことを覚えていて、次に同じ病気になるのを防ぐ体の仕組みのこと。

では、体に備わっている力や機能を高めるためには、どうしたらいいでしょうか。そうです、皆さんが頭に思い浮かんでいる…「よく食べ、よく動き、よく寝ること」です。簡単なようで意外と難しいですが、①バランスよく多くの栄養を取り入れる食事をすること。②こまめに体を動かすこと。(家のお手伝いをするのもいいですね。) ③疲れたらまずは休むこと。睡眠は疲労の回復や免疫機能を高める働きがあります。毎日の生活習慣を見直して、今日より明日の自分に少し良いことをしてみませんか。

(養護教諭 石崎 さおり)



## 10月俳句の里賞



- 1年 はじめてのかけっこはしつたいわしぐも
- 2年 バトンパスリードとともに秋のかぜ
- 3年 ゆうしょうきつかんだりょう手天たかし
- 4年 遠くまで鳴子ひびかせ秋の空
- 5年 冬隣り煮物が香る台所
- 6年 秋の風月を連れてく坂の道



運動会の楽しかったり頑張ったりした思い出の場面や秋の風景をよく思い出し、気持ちにぴったりの言葉や季語を考えています。俳句への親しみをさらに深めてほしいと思います。

(国語部員 佐川 紗依)

垣生小学校ホームページも御覧ください。

